

第12回シンポジウム IS技術者のためのPsytech研究会
ワークショップのご案内
「IS技術者のためのパターン・ランゲージの作成」

IS技術者のためのPsytech研究会では、前身であるIT技術者のためのウェル・ビーイング研究会の活動(2013年～)を含めこれまで、IS技術者の心の問題について、とりわけ幸福ややりがい感に焦点を当て活動を進めてきました。

IS技術者は未来を担う、そして社会にとって大切な存在です。ところが国際比較による調査^{*1)}では、日本のIS技術者の自己効力感の低さそして、能力開発への意欲が乏しいことが示されました。また、同調査において、利用者の代表ともいえる経営者もISを戦略的に活用するという意識に乏しいことが指摘されています。IS産業のプロジェクトマネジメントの機能、役割を構成するプロセスの1つとして当学会が明示する「プロジェクト・メンタル・プロセス」^{*2)}を、ISプロジェクトに根付かせることが急務であると考えます。

そこで、当研究会では今年度、卓越したISマネージャの経験則をパターン・ランゲージ(次頁参照)として整理し、広くIS産業界に広めることを目標とすることにしました。本シンポジウムの機会を活用し、ワークショップを企画しました。ワークショップでは「IS技術者のためのパターン・ランゲージ 0.1稿」を提示し、IS産業やIS人材の育成に関わる皆さま方の議論をいただきます。

*1)学校法人同志社 同志社大学、「日本のソフトウェア技術者の生産性及び処遇の向上効果研究：アジア、欧米諸国との国際比較分析のフレームワークを用いて」に関する成果報告書、2016 ※独立行政法人情報処理推進機構 委託

*2)新情報システム学体系調査研究委員会編、新情報システム学序説、一般社団法人情報システム学会、2014 従来より明示されている「プロジェクトマネジメント・プロセス」および「ソフトウェア・エンジニアリング・プロセス」に加えて、第3のプロセス「プロジェクト・メンタル・プロセス」が重要であると示されている。

記

日時：2019年5月25日(土)12時20分～13時10分

場所：専修大学 専修大学神田校舎 7号館7階773教室

ワークショップ「IS技術者のためのパターン・ランゲージの作成」

参加費：不要

★参加ご希望の方は、メールで主査宛てにお知らせください。(〆切：5月17日金曜日)

★予定人数に達した時点で参加申込の受付を終了することがあります。

主査 三村和子 (e-mail:kzkmimura■gmail.com) ※■は@に置き換えてください。

ISマネージャ、IS技術者、IS企業/IS部門の管理者の方、
IS技術者のやりがい感醸成に関心のある方の多数のご参加をお待ちしています。

～パターン・ランゲージについて～

◇パターン・ランゲージとは

パターン・ランゲージは、建築家クリストファー・アレクザンダーが提唱した住民参加型の町づくりを支援するために提唱された方法です。ある「状況」で生じる「問題」をどのように「解決」すればよいのかという実践的な知を記述し、「デザイン」における経験則をパターンという小さな単位にまとめていきます。ソフトウェア開発や教育、組織改革などの分野において、創造活動一般をデザインする方法として適用が広がってきています。

参考文献：井庭崇 パターン・ランゲージ：創造的な未来をつくるための言語、慶応大学出版会、2013

◇本企画の背景

○昔タバコ部屋で・・・

IS マネージャが新米だったころ、上司や先輩がよく語っていたことや上司や先輩の背中から学んだ心構えなどを、IS マネージャは心に刻み、自分が同じような状況となった時に心に刻んだ言葉を「心の杖」として思い返し、自らも用いることにより困難を乗り越えたことでしょう。その結果、顧客からの感謝やプロジェクト・メンバー達と達成感を味わう、このような経験が IS マネージャにとってのやりがいとなってきたと思われます。(なお、メンタルヘルス上喫煙は有害です。)

○今こそ対話が求められる

今、プロジェクトの現場では IT (技術中心) の傾向やコミュニケーション手段としてメールなどが多用されています。しかし、卓越した IS マネージャは Face-to-face のコミュニケーションを欠かさない努力を重ねています。なぜなら、生命組織からの情報(納得感、満足感など)を得ることがプロジェクトの現場では重要であり、IS プロジェクトのメンバー自身の気づきへの機会となるからです。

IS メンバーが自律的にやりがい感を持って働くことができる環境とすることが、プロジェクトの円滑な推進と成功への鍵となります。加えて、仕事上の問題だけでなく、IS メンバーの心身への気づき、周囲サポートへの働きかけのきっかけともなり、メンタルヘルス上も重要です。

◇今回作成するパターン・ランゲージ

パターン・ランゲージの作成は、本学会メルマガ連載「プロマネの現場から」2018年から10年に亘り、卓越した IS マネージャである蒼海憲治氏が自らの経験則を丹念に記した内容を元に、パターン・ランゲージの枠組みを使用して整理し、作成します。また、パターンには、蒼海氏がメルマガで取り上げた基本となる理論のほかに、臨床心理学上の理論・エッセンスなども盛り込んでいきます。

<パターン・ランゲージの構成>

